

ロップ君は葉っぱから落ちた一粒の滴（ドロップ）から誕生しました。湧水の近くの木のほこらに住んでいるロップ君は、人見知りな一面もありますが、川や海の「水」をきれいにすることの大切さをみんなに伝える活動をしています。



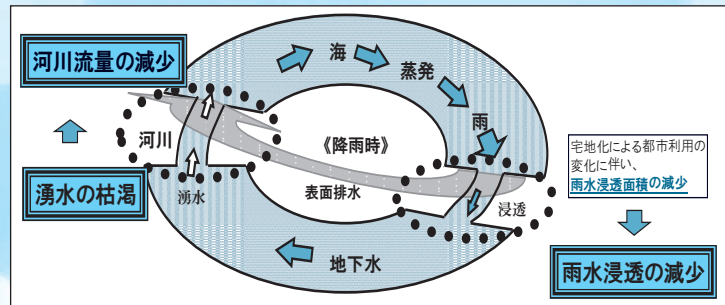
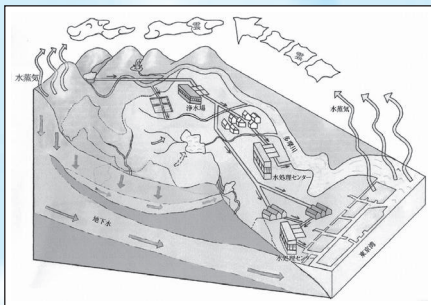
特集

8月1日は水の日です!

水循環の現状と課題

雨水が地下に浸透し、湧水となって地表に表れ、川となって海に注ぎ、水蒸気となってまた雨になる一連の流れを「水循環」と言います。

近年では都市化の進展などで雨水の地下浸透が減少し、平常時の河川の流量が減少するなど、水循環のバランスが崩れてきています。



良好な水環境に向けて

市では、水環境を守るため「川崎市水環境保全計画」を策定しています。

計画では、良好な水環境像を「人と水のつながりが回復され、市民がやすらぎ、安心できる水環境」とし、水環境を構成する「水量」、「水質」、「水生生物」、「水辺地」の4つの要素ごとに目標や指標を定め、様々な施策を推進しています。

水質の測定結果や生物調査の結果などは、市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

川崎市 月間水質測定結果

検索

水辺地市民調査マニュアル

人と水との触れ合う機会を創出し、自然や地域に対する関心や理解を醸成するため、平成29年3月に「かわさき水辺地市民調査マニュアル」を作成しました。

実際に水辺地へ行くことで、川や湧水地を身近に感じるとともに、水について考える機会になります。

また、水質や水量、生きものなどを調べることで、水環境を総合的に評価できます。

夏休みの自由研究、市民活動などで是非ご活用ください。

川崎市 水辺地市民調査マニュアル

検索

